

## 編 集 後 記

『独逸文学』67号をお届けします。

本号には論文2編、研究ノート1編、翻訳1編のほか、これまであまり例のなかった新刊紹介を掲載しました。ドイツ語ドイツ文学の情報発信に寄与できればと思います。留学体験記がないのは、コロナ禍でその機会が減ったためです。4年生の一人は1年次の終わり（2020年3月）に交換派遣留学でドイツの地を踏みながら、とんぼ返りで帰国を余儀なくされました。一方、現2年生の中には次年度ドイツ留学を予定している人もおり、少しずつまた歯車が動き始めたような気がします。強引なこじつけで恐縮ですが、本号の翻訳「少年の鑑」でも、自らの過ちから辛酸をなめたヴィルバルトによりやく運が向いてきました。関心のあるかたはご覧あれ。

（文責：工藤）

編集委員：工藤康弘（責任者）、柏木貴久子、齊藤公輔

### 当学会誌の編集方針

1. 本学会誌の内容はドイツ語圏の言語・文学・文化およびドイツ語教育に関する論文、マルジナリア、書評、翻訳、エッセイなどとし、原則として会員からの投稿とする。ただし、編集委員が会員以外に特別に原稿を依頼することがある。その他に、シンポジウム報告、修士論文要旨、学生の優秀論文要旨、卒業論文題目一覧、本学会の行事記録、前年度の会計報告を掲載する。
2. 投稿原稿の採否は編集委員会が行う。その場合、査読を編集委員以外に別に委嘱することがある。
3. 執筆要領は別に定める。
4. 投稿希望者は予定題目とその概要を期日までに編集委員会宛にあらかじめ提出しなければならない。詳細は執筆申し込み要領を参照のこと。

独 逸 文 学 67

2023年3月20日 発行

関西大学独逸文学会

編集兼  
発行者

吹田市山手町3-3-35  
関大独文研究室内  
電話・大阪(06)6368-0324

郵便振替口座  
口座名称

00910-5-116831  
関西大学独逸文学会

印刷所

株式会社 田中プリント

(非売品)



# DIE DEUTSCHE LITERATUR

67

2 0 2 3

Gesellschaft für Germanistik  
der Kansai Universität  
Osaka Japan